学校番号	411

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）情報表現	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	30 時間でマスター　Excel2019（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年生で学習したことを踏まえ、更に技術や、活用能力を身につけます。
・EXCEL 関数やグラフ、データベースなどの実践的な学習を通して、問題解決に活用します。
・アルゴリズムとプログラミング（Python）の基礎を学習し、知識の習熟を目指します。
・情報通信ネットワークを活用して自分の考えを発表したり、周りの人と協働で考え、議論する活動を行います。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
計算や関数を用いた情報処理の基礎から応用を理解し、活用できる技術を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
Python によるプログラミングを理解するとともに、論理的な考えを表現できるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
自ら課題を見いだし、表現活動に主体的に取り組もうとする態度を身につける。
仲間の多様な表現や価値観を尊重し、協働して制作に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解し、技能を身につけているとともに、情報社会と人との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	表計算ソフト	表計算ソフトの実習	a:表計算ソフトウェアの基本的な操作を理解している。表計算機能や、関数、およびデータベース機能を理解していている。 b: 表計算ソフトウェアの機能を使い、課題を作成できる。 c:実習課題について、興味関心をもち、粘り強く取り組んでいる。	ﾜｰｸｼｰﾄ 確認ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	授業観察 振り返りシート
		・データの活用	a:表計算ソフトウェアを用いてデータの分析を行うことができる。 b:ビッグデータの意味や内容について理解し，具体的な収集方法について考察できる。 c:問題解決のためのデータの分析の学習に対し，粘り強く取り組んでいる。	ﾜｰｸｼｰﾄ 確認ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ 確認ﾃｽﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	授業観察 振り返りシート
2学期	アルゴリズムとプログラム	・アルゴリズムと基本構造 ・プログラムの基礎 ・プログラムの応用	a:プログラムとアルゴリズムの関係を理解し、フローチャートでアルゴリズムを表現することができる。 プログラムを作り､構成する変数を理解できる。 b:分岐構造や反復構造を含んだプログラムを作ることができる。 c:身のまわりの事象をアルゴリズムで考察しようとすることができる	ﾜｰｸｼｰﾄ 確認ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題	授業観察 振り返りシート
3学期	情報デザイン	コンテンツの制作 ・コンテンツ設計 ・スライド制作と発表	a:様々なアプリケーションソフトウェアを用いて，見やすいスライドや資料を作成できる。 b:論理的に情報を伝えるための論理展開の方法について理解し，コンテンツの構成について考察できる。 c:わかりやすい報告書を作成するために，文書の作成に工夫をし，粘り強く取り組んでいる。 ・成果物に対し，自己評価や相互評価を行い，改善している。	ﾜｰｸｼｰﾄ 確認ﾃｽﾄ	ﾜｰｸｼｰﾄ ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 相互評価 自己評価	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度